

科目名		授業形態	担当教員名	
理学療法評価学Ⅴ		講義・実習	小林 正明	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
理学療法における評価には、徒手的な整形外科的テストを始めとした特殊検査がある。この講義では様々な特殊検査の中でも、特に有用な検査法を中心に修得することを目的とする。後半は呼吸機能検査や脳神経障害の徴候・検査方法についても学ぶ。実技中心に講義が進み、検査方法や陽性徴候が出現するメカニズムを理解する。3回の実技スキルチェックにより技術の習熟を図る。				
授業の到達目標				
1. 検査・徴候と疾患(障害)の組み合わせを理解する 2. 検査手技を覚え、実技練習・スキルチェックを通して習熟する 3. 検査で観察される現象が生じるメカニズムを解剖学的・運動学的・生理学的に理解する				
授業計画				
回	内容			
1	授業の目的ガイダンス・肩関節に対する整形外科的テスト			
2	整形外科的検査(肩関節・胸郭)			
3	整形外科的検査(肘関節・手関節・手指)			
4	第1回実技スキルのチェック(上肢・胸郭に対する整形外科的検査)			
5	第1回スキルチェックの総評、整形外科的検査③(股関節)			
6	整形外科的検査(股関節・膝関節)			
7	整形外科的検査(膝関節)			
8	整形外科的検査(足関節・詐病)			
9	第2回実技スキルのチェック(下肢の各関節・詐病に対する整形外科的テスト)			
10	第2回スキルのチェックの総評、整形外科的検査(脊柱・骨盤の運動器系検査、髄膜刺激症状)			
11	中枢神経障害に対する検査・徴候、脳神経障害に対する検査・徴候			
12	第3回実技スキルのチェック(脊柱・骨盤の運動器系検査・中枢神経系に対する検査)			
13	第3回実技スキルのチェックの総評、脳神経障害に対する検査・徴候			
14	内部障害の評価概論・フィジカルアセスメント			
15	呼吸機能検査のみかた(スパイログラム、肺気量分画等)・まとめ			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	60%			
レポート				
小テスト				
平常点				
その他	40%	3回の実技スキルチェックを行う		
自由記載	実技スキルチェックでは、検査肢位・手順を実技し、陽性徴候と疾患の組み合わせを答える。			
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
標準理学療法学 理学療法評価学	内山 靖	医学書院		
標準整形外科学	中村利孝, 松野丈夫, 井樋栄二	医学書院		
ベッドサイドの神経の診かた	田崎 義昭, 斎藤 佳雄	南山堂		
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
自由記載				
備考				